

# 大腸癌手術の化学的前処置であるカナマイシンおよびフラジール併用投与の意義

## 1. 研究の対象

2013年4月から現在までで大腸癌手術を施行した症例（術前抗生剤内服なし群・あり群）

## 2. 研究目的・方法

結腸直腸癌手術において、SSI 予防目的に化学的前処置が有効であるとされており、当院では術前1日間の経口抗生剤を内服する化学的前処置を導入し、クリニカルパスに追加し運用を開始した。本研究では化学的前処置のクリニカルパス導入によるSSI 予防効果を明らかにすることである。クリニカルパス導入前を導入前群、導入後を導入後群とし、SSI 発生率について retrospective に比較検討する。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等

## 4. 外部への試料・情報の提供

無し

患者さんの個人情報適切に管理され、その情報が外部に漏れることはありません。

## 5. 研究組織

りんくう総合医療センター

瀧口暢生 消化器外科 副医長

吉村大士 消化器外科 医長

古川陽菜 消化器外科 医長

東 重慶 消化器外科 医長

小川久貴 消化器外科 医長

大村仁昭 消化器外科 部長

三宅正和 消化器外科 部長

種村匡弘 消化器外科 主任部長

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内

で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：大阪府泉佐野市りんくう往来北 2-23 TEL:0724693111 瀧口暢生

研究責任者：りんくう総合医療センター 瀧口暢生 消化器外科 副医長

(2023年7月4日)